

アメリカ穀物協会主催

2020/2021 米国トウモロコシ輸出時品質ウェビナー

講演者略歴



Reece Cannady リース・キャナディ

**Manager of Global Trade, U.S. Grains Council アメリカ穀物協会グローバル
トレード・マネージャー**

キャナディは、アメリカ穀物協会のグローバルトレード・マネージャーとして、貿易に関する専門知識を生かし、協会と米国や世界のトレーダーとの関係の強化や、米国の飼料穀物およびその関連製品の輸出市場での存在に貢献している。協会に勤める以前は、テキサス州アマリロで 2 年間、トレーダーとして Attebury Grain, LLC 社に勤務し、特に本社とメキシコの事務所との間の小麦輸出に携わった。また、米国内の肉牛給餌に関して、テキサス州、カンザス州、オクラホマ州にわたる地域の顧客にサービスを提供し、テキサスで飼料事業を営む外資系企業と密接に協力した経験を持つ。



Gary Prescher ゲイリー・プレシャー

**Minnesota Corn Research & Promotion Council ミネソタ州トウモロコシリサーチ
& プロモーション**

ゲイリー・プレシャーは、ミネソタ州デラバンの農場でトウモロコシと大豆を栽培する第 4 世代の農家である。

プレシャーは、2015 年にミネソタ州トウモロコシリサーチ & プロモーション協会 (MCR&PC) のメンバーに任命され、MCR&PC の副議長や議長など、過去数年間にいくつかの指導的役割に選出されてきた。彼と彼の妻、ジュディスには 3 人の子供がいる。プレシャーは、ウィノナ州立大学を卒業し、地球科学の学位を取得した。2013 年からはミネソタ州トウモロコシ生産者協会の会員である。プレシャーは 2017 年からアメリカ穀物協会の、日本、韓国、台湾、中国、東南アジアにおける飼料穀物とそれら由来のあらゆる商品の現在の市場の維持と新規市場の開拓に焦点を当てたアジア・アドバイザー・チームに所属している。



Kent Moore, Iuka Kansas ケント・ムーア

Chairman, Kansas Corn Commission カンザス州トウモロコシ委員会

ケント・ムーアは、ブッシュェルあたり 1 セントのトウモロコシのチェックオフを管理する生産者委員会であるカンザス州トウモロコシ委員会の委員長である。ケントと彼の家族は、ウィチタの西にあるカンザス州中南部で多角的な農場を所有・運営している。ムーア家はトウモロコシ、大豆、小麦を育てており、また牛の飼育も行っている。ムーアは、カンザス州立大学で農業経済学の学士号を取得した。アメリカ穀物協会のアジア・アドバイザー・チームに所属している。



Marty Ruikka マーティ・ルイッカ

President, The ProExporter Network® プロエクスポーターネットワーク社長

マーティ・ルイッカ(Marty Ruikka)は 1980 年代後半に設立されたプロエクスポーターネットワーク社に当初から参加し、現在は社長として「Commodity Market Zone Analysis」(CMZA)ソフトウェアを管理している。ルイッカは CMZA を使用して多くの合併、買収、売却を合理化し、多くの穀物会社や協同組合の戦略的組成計画を確立するとともに、エタノール分析と実現可能性調査も担当している。



Dr. Bryan Lohmar ブライアン・ローマー博士

Director, U.S. Grains Council – China, Beijing アメリカ穀物協会中国事務所代表

ブライアン・ローマーは、中国の農業および経済問題に 20 年以上携わってきた。2012 年 4 月にアメリカ穀物協会(USGC)中国事務所の代表に就任し、飼料・畜産業界への技術支援、取引業者への情報提供や登録サービスのサポート、政策対話など、幅広いプログラムを開発・運営している。USGC に勤める前は、Bunge China の経済調査ディレクターとして、中国国内の穀物、油糧種子、砂糖の内部需給、貿易予測の調整を担当していた。Bunge 入社以前は、米国農務省の Economic Research Service でエコノミストとして中国問題を専門に担当し、ワシントン DC にあるジョーンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院で計量経済学の非常勤教授も務めていた。研究テーマは、土地所有権、農業労働力の配分、穀物販売政策、水不足、貿易自由化、食品安全、都市部の食品消費問題、家畜生産問題など、中国の農業・食品市場に関連する幅広い分野に及んでいる。彼の研究は、学術誌、USDA レポート、ブックチャプターなどに掲載されており、米国、中国、その他の国の多数の学術会議や専門会議で発表されている。2016 年には、Agricultural and Applied Economics Association 農業応用経済学会から、最近の出版物に対して年次 Quality of Communication 賞を授与された。

ブライアンはミネソタ州で育ち、ミネソタ大学で数学の学士号を取得(副専攻は中国語)、カリフォルニア大学デービス校で農業・資源経済学の博士号を取得した。